

令和8年度入学者選抜試験問題（後期日程）
（地域学部地域学科国際地域文化コース）
「小論文」出題意図

本年度の課題文は、佐藤道信著『〈日本美術〉誕生』（1996、講談社）からの抜粋である。「日本」「美術」という概念や認識が近代に作られたものであり、現在は、それらの概念がゆらいでいることを論じた文章である。

まず、問1では、近代に作られた概念である「日本美術」について筆者が表した図を、本文の内容に基づき、近代規格の「日本」の内側に地理的広がりや価値基準の所在の異なるものを切り取った概念であることを説明できるかを見る。

次に、本文中で、筆者は「日本」「美術」という概念が、近代規格の「日本」の内側に地理的広がりや価値基準の所在の異なるものを切り取ったものであり、現在は、時代的・国際的な情勢によって、「日本」「美術」「歴史」という概念や認識自体が、当時のものからゆらいできていることを指摘している。

問2では、この「日本美術」の例のように、構造的な問題からゆらぎが生じている文化的事象を、その背景なども考慮して、紹介できるかを見る。

これらによって、知識、読解力、論理的思考力、文章表現力、協働性、および創造性の有無を評価する。